

第十一章

の誕生日

東京ながしま会の会員の皆様
小針英希

お元気になりました。お忙しい中、お手紙を頂戴いたしました。どうもありがとうございます。この度は、母校野球部の観戦に出て、少し前になりましたが、田舎を再び見ました。誘つて、母校野球部の観戦に出でました。おかげで、久しぶりに母校を訪ねることができました。私たちちは、バッターネット裏から観ておりました。したから、両ハンチスタンダードの応援風景がよく見えます。今のお心遣は父兄が撮いのシャツを着て、野球部員がたくさんいる学校は部員も加えての陣容です。

我々の頃（五十余年前の）学ラン・ハチマキ・白手袋・応援団旗のあの勇ましい姿は完全に姿を消しました。当時、陸校との定期戦が城山球場（今はない）であります。入学したての一 年生は全員が満員の人も人も入学校へが満ち、咲下る花やが満開です。代につくられた歌詞の意味を理解できなつて、歌をかけられ、旧制中学校時代につくられたものでした。さうして、みんなの声援がスタンドに響きます。変わりましたね。

そんな中、試合が終了し、どうにか母校が勝ち、球場に勝利しましたが、久しく立たなければなりません。農家の方々が耕作手を貸すのです。不動で、大声で、スピーカーから流れれる校歌と一緒に歌つて、私たちの数列前の高齢者が直立不動で、未だに驚きました。

昭和の応援団、未だにこにあります。一年生は、まだ驚きました。

油 叉

い思い出

けます。

意されます」と、お祈り申
い夏は涼しそうです。健康
様とお会いで歩るなどを楽
じております。

す。

それを除いていたいたいお
なりがちですが、友人の存
を重ねると外出するのが億
劫になります。

河の球場は白坂地区にあり
周囲を深い緑に覆われた
日本でした。

ことを今更のよつに感じられ
て、時代があわせて変わっていて
校名は葵わらなくとも、中
学の事実です。

の先輩たちを見て、うれし

時は昭和二十二四年生まれ、いはるの団塊の世代です。小学校になりました。学校の数本の桜開くなり小高い学校から見渡す滑津耕土のたんぽ一面に今でもはつきりと脳裏に浮かんでいます。遠足は、「一年生は」二年生は「どと堀池」、三、四年生は「からす峠」でしょ。お弁当は「鳥峠(からす峠)」であります。遠足は、一年生は「二年生は」、夏休みかんでもみんなが同様に鳥峠に登ってみました。結構きつい坂でした。

会員の皆様、帰郷の際には、中島村商工会作成のカレンダーを片手に散策してみてください。

次に思い出すのは運動会です。小学生の時の思い出は、「滑津競馬」です。張りぼての馬を二人組で高く差し上げて走る競争です。中学生の時は、オリソングとピックの年で、生徒と村民、同じ「村民体育祭」でした。最も大きな呼び物は「部落対抗レース」と「仮装行列」です。部落対抗は震まじいものでした。仮装行列は各集落が当日まで極秘にしで準備した自信満々の出し物だけに、皆、凝った出し物で見物の人々を大いに樂しませてくれました。以上が、私の「遠い思い出」です。

二
近況報

回も毎回参加して心いたいです。ショート吉田千華寿を迎えておりで出席お願いします。

役員会からのお知らせ

5月25日、加藤村長、小金ふるさと会会長様方での出席を頂き、中島村の隣、泉崎村にある「泉崎カントリーヴィレッジ」さつき温泉で役員会を開きました。総会に参加された仁科氏、吉田氏が千羽鶴の製作者日暮様（お主婦）に来てくださいました。

京都小針後期私も今年90歳になりましたが、心身ともに元気に暮龍栽培、菊うぐいす、カラマツなども元気にお世話を見習っておりました。

1

様子

東京都は、中島村の情勢、事件、災害等で参加したが、来年も協力して頂きたいと思つてゐます。何でもお願いします。

[4]

【新居宿玄関前でパチリ】
さつき温泉は、東北本線泉崎駅が最寄り駅で、宿泊客の送迎も行っています。

集後

